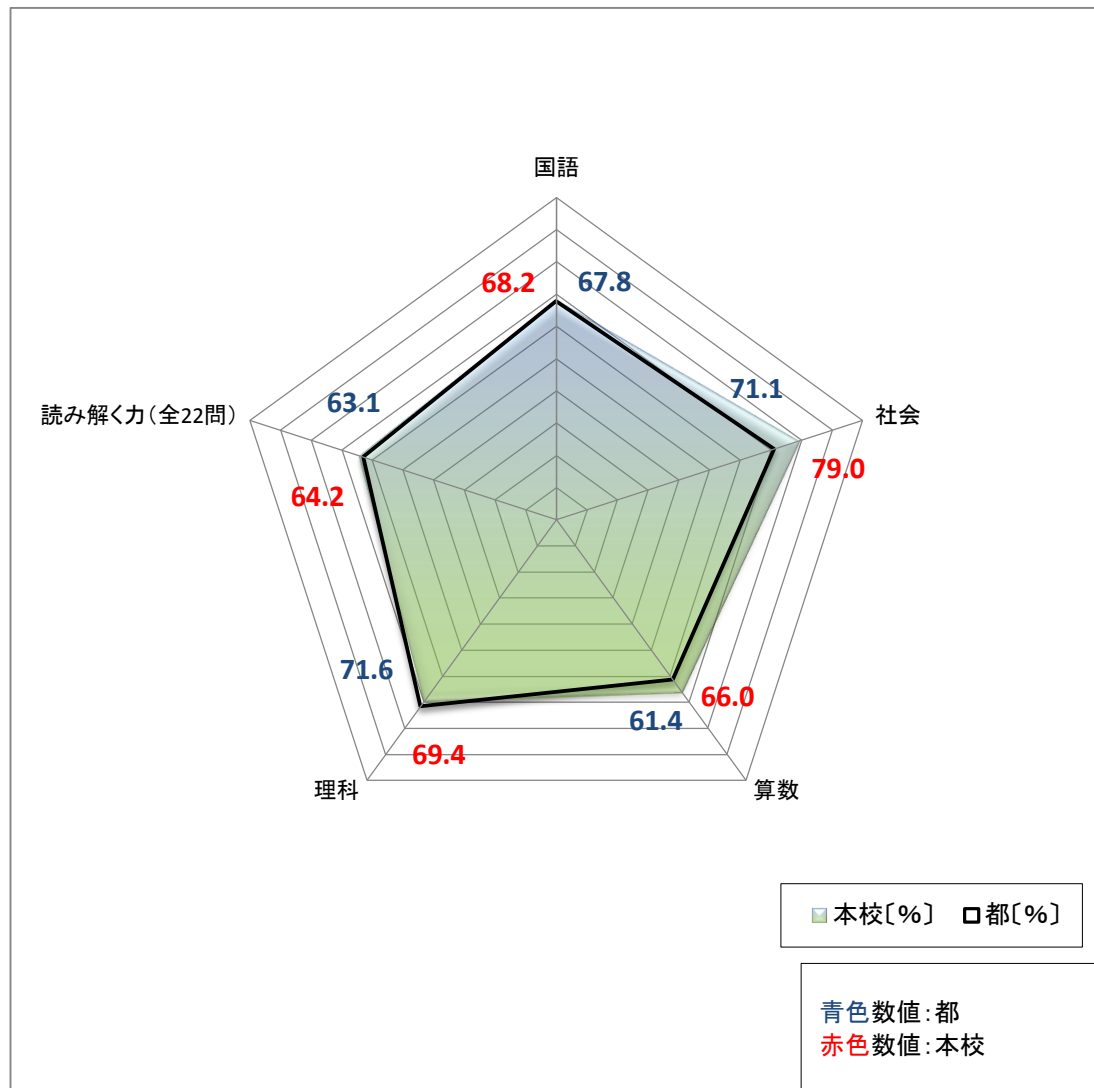


平成29年度児童・生徒の学力向上を図るための調査結果による「確かな学力向上推進プラン」策定のための課題分析表（小学校）

清新ふたば小学校

《学力調査結果チャート》※本校と都の平均正答率の比較



《チャートの特徴》

教科では、理科以外の科目が東京都の平均を上回り、算数と社会は平均よりも5ポイント以上高い結果となった。理科では、既習事項である単元（磁石のはたらきや方位など）の知識を問う問題で都の平均よりも下回った結果、全体も平均よりもポイントが若干下がってしまった。

《現状把握》

国語では、物語文において登場人物の心情を読み取る問題の正答率が説明文と比べ高かった。また、算数では、問題文から立式する、図（数直線や線分図）に表すことができている。理科・社会では、科学的・社会的な事象について考えることができている。一方で、各教科の課題は以下の通りである。

- 国語
 - ・ 説明文の読み取りでは、必要な情報を取り出す力を身に付ける。
 - ・ 文法の理解を深める。（主語述語の関係など）
- 算数
 - ・ 基本的な計算力を身に付ける。（整数や小数の四則計算、分数の加減法）
 - ・ 位取りや単位換算の技能を高める。（位が一つずつずれている、kgからgに直せない）
- 社会
 - ・ 複数の資料を読み比べたり、関連付けたりするなど活用力を高める。
- 理科
 - ・ 既習学習の知識を定着する。

全体としては、基本的な知識を理解すること、複数の資料や情報を整理・分析する力をつけることが課題として見えてきた。

《授業改善のポイント》(推進プランは別紙)

- それぞれの教科で、主に取り組んでいくことは以下の通りである。
- ・ 国語では、心情の読み取りだけでなく、文章を要約したり、必要な情報だけを取り出したりする力を育てていく。
 - ・ 算数では、朝学習や補習で基本的な問題（四則計算、位取り、単位換算）に取り組んだり、東京ベーシックドリルを活用したりすることで、基本的な知識・技能を身に付けさせる。
 - ・ 社会では、1つの資料から複数の気付きを見付けることで、複数の資料を読み比べたり、関連付けたりする力を育てていく。
 - ・ 理科では、既習学習の復習を行い、基礎的基本的な知識の定着を図る。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・ 家庭学習の習慣化を図る。
- ・ 早寝早起き、食事をきちんととるなど、基本的な生活習慣を身に付けて毎朝元気に登校できるよう促す。
- ・ 江戸川っ子家庭ルールを活用し、家庭と学校が連携して子どもを育てていく。